

## 会 議 錄

### ■会議名

令和7年度第2回 野辺地町総合教育会議

### ■日時

令和7年12月19日（金）14時30分～15時45分

### ■場所

野辺地町役場 町民ホール

### ■出席者

野村町長、江刺家副町長

教育委員会／小野教育長、野坂委員、林委員、亀田委員、須藤委員

町立学校／（野辺地小学校）坂本校長、（若葉小学校）佐藤校長、  
(野辺地中学校) 桐原校長

町内高校／（野辺地高校）西巻教頭、（野辺地西高校）橋場校長

（事務局）

学校教育課／飯田課長、濱田指導室長、山田課長補佐

社・スポ課／玉山課長、米内山総括主幹

中央公民館／二木館長、濱野館長補佐

### ■内容

#### 【要旨】

##### 1 町長挨拶

本日は、令和8年度の重点事業や小・中学校の現状と課題などについて情報を共有し、それぞれの立場において、より良い教育施策の推進につなげていただきたい。

町が目指す子どもの姿、「かしこい」「やさしい」「たくましい」「しなやかな」野辺地っ子の育みと、全ての町民が生涯を通じて学び続けられるまちづくりを実現していく。

##### 2 令和8年度当初予算要求重点事業について

各部署から、令和8年度に実施を予定する以下の事務事業について説明があった。

###### （1）学校教育課・学校給食共同調理場（説明者／飯田課長）

- ・統合小学校新築事業
- ・野辺地中学校 校内教育支援センター設置事業
- ・小中学校フッ化物洗口実施事業
- ・学校施設、学校給食共同調理場 施設管理事業

###### 《令和8年度に見直す事業》

- ・人材育成助成事業（高校生短期講座の終了）

###### （2）社会教育・スポーツ課（説明者／玉山課長）

- ・第80回国民スポーツ大会関連費
- ・競技スポーツ強化支援事業
- ・町立体育館競技場照明LED化改修事業
- ・認定地域クラブ活動推進協議会

(3) 中央公民館・図書館・歴史民俗資料館（説明者／二木館長）

中央公民館

- ・中央公民館改修工事事業

図書館

- ・図書館ＬＥＤ化改修工事
- ・図書館活動推進費
- ・図書館開館時間の延長施行

歴史民俗資料館

- ・日本遺産3港連携事業
- ・まつり担い手育成事業
- ・行在所誘導看板設置業務

《令和8年度に見直す事業》

- ・野辺地町文化少年団
- ・文化財調査、継承事業

### 3 小・中学校の現状と課題

各校の児童生徒数の状況や知育面、德育面、体育面等での取組について説明があった。

(1) 野辺地小学校（説明者／坂本校長）

(2) 若葉小学校（説明者／佐藤校長）

(3) 野辺地中学校（説明者／桐原校長）

各校説明の後、濱田指導室長から、学校訪問等を通じて感じた各学校の状況等について説明があった。

### 4 校長会からの要望について

町校長会から、教育予算に関わる以下の事業の実施について要望があった。（説明者／桐原校長）

(1) 教育支援センターの設置

(2) スクールサポーターの増員及び継続配置

(3) 校務支援ソフトの導入及びスクール・サポート・スタッフ、ＩＣＴ支援員の継続配置

(4) 理科支援員の継続配置

### 5 町内高等学校の現状について

野辺地高校、野辺地西高校それぞれの学習、学校行事、部活動等の状況について説明があった。（説明者／西巻教頭、橋場校長）

### 6 質疑応答

（野坂委員）

各校が発行する「学校だより」は、学校と家庭、子どもと親を結ぶきっかけになる。地域にも配られ、楽しみにしている人もいる。コロナ禍以降、ＰＴＡ研修もな

くなった。学校でこういうふうに子どもたちを守っているといったことも記事にしていけば、もっと学校、家庭、子どもたちの結びつきが高まる。

## 7 その他

### 【教育長から】

教育支援センターの設置については昨年度から準備を進めてきた。小学校・中学校の不登校を見てきたが、まずは中学校から手をつけることとし、令和8年度の重点事業の要望事項とした。

新規事業の地域クラブ活動推進協議会は、中学校部活動の地域展開のこと。一気にはできないので、受け皿となるクラブができたところから徐々に進めていきたい。

小・中学校の全国学力調査については、その結果を分析し、各校から改善策を出していただいた。今後、教育委員会としてどういう形でかかわっていけばいいか各学校から伺う。

高校に関しては、野辺地高校への支援は来年度も継続していく予定である。野辺地西高校については、毎年夏まつりに参加していただいてことに感謝する。今後については野辺地高校への引き継ぎを考えており、校長にも話をしている。

野辺地西高校には、来年度もふるさと学習に参加していただき、野辺地の思い出を持って五戸に移ってもらいたい。

### 【町長から】

町の宝である子どもたちにかかわることなので、これからもしっかりとサポートしていく。

12月8日の地震から1週間以上経ったがまだ余震が続いている。子どもたちの安全確保をお願いする。今年、野辺地高校で町との連携による防災訓練を実施したが、震災時は訓練した以上のことはできないので、常々の訓練が大切であることを肝に銘じた。

現在、野辺地小学校統合校舎建設の実施設計を行っており、来年には工事発注となる。物価高により、果たして入札業者がいるのか、落札されるのかといった心配もある。色々な声を聞くが、皆さまの気持ちを一つにして、子どもたちのためにご協力をいただきたい。

高校については、野辺地高校が地域協力校になった。この10年間で8人の校長が赴任した。先日の会議で、私から県に対し、3、4年腰を据えてじっくりやってもらわないことには、野辺地高校はどうにもならないことを申し上げた。また、現在の町からの補助金については、これからも真摯に、できることを精一杯対応していく。

野辺地西高校については、令和9年3月をもって五戸に移るが、これからも何かあれば連携していきたい。これまで大変長い間お世話になった。今年の夏まつりへの参加をよろしくお願いする。

来年、約50年ぶりに県内で国スポが開催される。野辺地町はハンドボール少年男子の部の会場となる。今後、町内にある100本の街路灯全てにフラッグを掲げ、町民の機運を盛り上げていきたい。

皆さまには、これからも野辺地町の教育について、ご理解とご協力をお願いする。